

はじめに

練習なくして成果なし

本書を手にとっていただきありがとうございます！

本番に向けた最終調整のため、または現在の実力チェックのため、または受験に向けて学習のきっかけにするためなど、模試をお使いいただく目的はさまざまだと思います。

スポーツでいえば、模試は「練習試合」です。練習試合とは、現在の力を本番と同じ形式で実力を試す場です。練習試合なくして、本番で実力を発揮することはできません。実際に、英語学習をしっかりと行ったにもかかわらず、全くスコアが上がらない受験者もいらっしゃいます。その理由は、英語力が上がらなかったからではありません。英語力が上がったにもかかわらず、スコアが上がらなかったのです。その理由は、練習試合を行っていなかったことなのです。

別の例もみてみましょう。人前でスピーチをするとき、スピーチに関する本を読んだだけで緊張せずにスピーチすることはできません。時間を計りながら、本番をイメージしながら実際に声に出して何度も練習することで、だんだんと実力が出せるようになってくるのです。

TOEIC® テスト受験の際も、同じように時間を計りながら、本番と同じように取り組んでください。その後、必ず英文と日本語訳、解説をしっかりと読み、単語やフレーズ、話の展開、正解や不正解の理由を確認することで、さらに知識を高めながらスキルへと転換することができるようになります。

本書の素材を使ったスキルアップトレーニングができるように、サポートサイト (<http://www.jay-toeic.com/gokenmoshi>) を開設いたします。ぜひ最高の準備により、最高の結果につなげるためにもご活用ください。次回のテストでの目標スコア達成を応援しています！

早川幸治 (Jay)

There had been a large number of minor changes in the TOEIC even before the new item types were announced in 2015. The TOEIC items in this book are the result of more than eight years of research into the TOEIC and how it has been changing. Using our years of experience in addition to our recent insights, Jay and I have produced a practice test as valid as any official test. In order to make this claim, it has been necessary for us not only to research the vocabulary, grammar, content and phrasing of the TOEIC, but also to understand the underlying objectives of the TOEIC test. These are truly authentic items that are relevant to our readers' needs.

There are many ways to improve your English ability just as there are many ways to improve your fitness. Swimming will improve your health, but it will not make you a better runner. To be good at running you need to run and to be good at the TOEIC, you need to take the TOEIC test and often. You need to learn from your mistakes and practice your newly acquired skills.

Ross Tulloch

2015年に新形式問題が発表される前からTOEICでは多くのマイナー・チェンジが行われてきました。本書のTOEIC模擬問題は、TOEICとその変化に関する8年以上におよぶ研究調査の成果です。長年の経験と最新の考察に基づいて、ジェイと私は、公式テストとしても通用する模擬問題を作成しました。こう主張できるようにするために、私たちはTOEICの語彙、文法、内容、言い回しを調査するだけでなく、TOEICテストの根本的な目的についても理解する必要がありました。本書の模擬問題は読者のみなさんのニーズに即した、まさに純正の練習問題です。

英語力を伸ばすには多くの方法があります。その点ではフィットネスを向上させる方法も同様です。しかし、スイミングは健康に役立ちますが、だからといってジョギング力を高めるわけではありません。ジョギング力を高めるには走る必要があるように、TOEICの受験力を高めるにはTOEICを繰り返し受験する必要があります。そして、自分の犯した間違いから学び、新たに獲得したスキルを実際に使ってみることが大切です。

ロス・タロック

目次

はじめに	3
本書の使い方	5
新形式 TOEIC® テストの出題形式と傾向・解き方	7
❖Practice Test	
Part 1 ● CD 04-09	12
Part 2 ● CD 11-35	16
Part 3 ● CD 37-62	17
Part 4 ● CD 64-83	22
Part 5	26
Part 6	29
Part 7	33
❖Answer Key	
Part 1	56
Part 2	58
Part 3	65
Part 4	79
Part 5	89
Part 6	97
Part 7	104
❖Practice Test Results	
正解一覧表	129
スコアレベル別・パート別正解チェック	130
Answer Sheet	(135・137・139)

【装丁】 山田 英春

【編集協力】 田尻 まど香

【録音】 英語教育協議会 (ELEC) 録音事業部

【CD 吹き込み】

Jack Merluzzi (アメリカ・男性)

Rachel Walzer (アメリカ・女性)

Emma Howard (イギリス・女性)

Neil DeMaere (カナダ・男性)

Brad Holmes (オーストラリア・男性)

本書の使い方

本書は、新形式を含む最新の出題傾向を反映させて作り上げた模擬問題集（1回分・200問）です。TOEIC® テストで実質的なスコアアップ（50点以上）を実現するには、2つの鉄則があります。

✎ Practice makes perfect. (習うより慣れよ)

TOEIC® テストは2時間で200問を解く、精神的にも肉体的にもハードなテストです。ほとんどの受験者はこのハードさに負けて、その実力を発揮できません。それは、何よりもまず十分な予行演習を行っていないからです。では、十分な予行演習とは何かというと、次の3点に絞られます。

- 実際のテストに近い受験環境に身をおき、2時間で200問を完全に解き終えるだけのスピード感覚を養う。（「基本的受験力」の養成）
- 実際のTOEIC® テストの英語、出題形式（語彙のレベル、設問文、選択肢の語数などの数値データも含む）、出題傾向、難易度をできるだけ忠実に再現した良質の問題（できれば200問セットのもの）を数多く解き、どのようなねらいのもとに、どのような英語力が問われ、誤答を避けるためにどのような点に注意しなければならないかを体得する。（「言語的対応力」の養成）
- 問題作成者の意図と、その意図を実現するために各問題に用意されている多様な正解のヒント、誤答用ひっかけがどのようなものであるかを理解して、逆にそれらの問題作成者の意図を活用しながら、正解を絞り込む技術を身につける。（「受験技術」の習得）

✎ Manage time effectively. (時間を効果的に管理する)

筆者らの指導経験から言えることは、TOEIC 受験者の90パーセントは試験時間内に200問を解き終えることができず、Part 7の後半で未解答の問題を多く残しています。これでは、いくら英語力があっても好スコアは期待できません。何よりもまず全問を確実に解いて終わるだけの解答スピードが必要です。そして、数多くの練習問題セット（200問）を2時間で解くことによる反復練習を繰り返さなければ、その時間管理の方法を身につけることはできません。

TOEIC® テストは減点法を採用していません。間違った解答で減点されることはありませんので、200問すべてに必ず解答をマークします。そのために大切なのは、「解けそうにない問題は、解けないものと潔くあきらめる」ことです。けっして考え込んで、時間を無駄にはしてはいけません。自分の力では解けそうにないと判断したら、適当な選択肢ひとつをマークして、すぐに次の問題に進みます。

本書で受験対策に取り組んでいただければ、この2つの鉄則を特に意識することなく自分のものとすることができるはずです。

【本書の構成】

本書は、模擬問題1回分（200問）を収録したPractice Test編、その解答・解説をまとめたAnswer Key編の2部構成となっています。まずPractice Testに取り組みます。解答を終えたら、Answer Key編を開いて各問の正誤を照合し、特に間違えた問題について、なぜ間違えたのか、どのような誤答用ひっかけにつまずいたのかについて、しっかり自己評価を行うことで、同じ誤りを繰り返さないための知識と技術を身につけることができます。

【本書の使い方】

1. TOEIC 公開テストのテストブックとほぼ同じサイズの大判テキストに、実物そのままのレイアウトを再現しました。実際に受験している感覚で模擬試験に取り組むことができます。
2. 体裁だけでなく、語彙のレベルやパッセージ、設問文、選択肢の長さ（語数）、設問のパターンとポイント、誤答用ひっかけなども、実際の公開テストのデータを反映させています。
3. TOEIC 公開テストは平均正解率が65-68パーセント程度になるように設計されています。本書収録の模試も同様です。
4. 本書付属のCDにはリスニングテスト1回分（100問）が収録されています。また、原則として1トラックに1問が収録されていますので、特定の問題を簡単に聞き直すことができます。
5. 解答用のアンサーシート（135ページ）をコピーして使用すれば、模試に繰り返し取り組むことができます。本書に限らず、模試は1回解いて終わりではなく、必ず時間を置いて繰り返し解くことが大切です。繰り返し学習によって初めて、出題パターンの認識とそれに応じた解法、頻出語彙、正解のヒントや誤答用ひっかけの見きわめ方などの「受験技術」が自分のものになります。
6. リスニングテストのトランスクリプトは Answer Key 編に収録しています。正解につながる情報は太字（Part 5 は下線）で、誤答につながる情報や誤答用ひっかけは薄い文字で示してあります。また、会話問題・説明文問題で新形式となる言いよどみ、くずれた発音（たとえば、going to が gonna など）は、トランスクリプトに薄いアミをかけています。
7. Answer Key 編では設問とその訳、正解に加えて、出題パターンと解法、設問文や選択肢の先読み情報を一目でわかるように示しています。スコアアップには、これらの情報をうまく活用する「受験力」が必須です。必ず目を通して、自分の思考回路に定着させてください。
8. Answer Key 編では、各問題の難易度を【470（易）⇔600（平均）⇔730（やや難）⇔860⁺（難）】の4段階スコア評価で示しています。特に、自分が間違えた問題について、その難易度をしっかり確認してください。その難易度が、自分の目標スコアを上回っている場合には、間違えてもそれほど気にする必要はありません。しっかり英語学習を続けていけば、必ず正解できるようになるはずですが、反対に、自分が目標とするスコアを下回っている問題を間違えていた場合には、間違えた原因をしっかり把握して、必ず復習してください。その努力が、本試験で同じ誤りを防いでくれるのです。
9. 模試を解き終えたら、全問の正誤を照合してください。それにより、
 - スコアレベル別正解チェックとパート別正解率（130ページ以降）を使って、難易度別、パート別の正解率が計算できます。パート別正解率を自分が目標とするスコアレベルの該当する数値に近づけることはもちろん大切ですが、その下の難易度の問題を取りこぼしていないかどうかを必ず確認してください。取りこぼしがあれば、上記8の項で述べたように、その原因を突き止め、しっかり復習して同じ誤りをしないように予防策を講じます。こうした地道な努力が、最後にはスコアアップに結び付くのです。

新形式 TOEIC[®] テストの出題形式と傾向・解き方

【新形式 TOEIC[®] テストの構成】

設問数	出題形式と傾向・解き方	英語の音声について
Part 1 写真描写問題 Photographs	6 <ul style="list-style-type: none"> ● 出題される写真は 6 枚。それぞれについて 4 つの描写文が読み上げられる。 ● 写真は「人物写真」「物体写真」「光景写真」の 3 種類だが、「人物写真」が 4-5 問を占める。 <p>→ 描写文が読まれる前に必ず写真を見ておく。</p> <p>→ 描写文の動詞は現在進行形と現在形が大半を占める。特に、受動態の現在進行形（<i>The meal is being served.</i> など）に注意が必要。</p> <p>→ 音の似た語を用いたひっかけ（<i>work</i> と <i>walk</i>, <i>copy</i> と <i>copier</i>, <i>hold</i> と <i>fold</i> など）に注意が必要。</p> <p>→ 意味の似た語を用いたひっかけ（<i>wear</i> と <i>put on ...</i> など）に注意が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● Listening Test 全体を通して、アメリカ英語だけでなく、イギリス英語、カナダ英語、オーストラリア英語の計 4 種類の英語が用いられる。 ● 4 種類の英語が 25 パーセントずつ導入されることにより、地域的に異なる発音、アクセントが盛り込まれて、バラエティ豊かな聞き取り素材となっている。 ● ただし、いずれの種類の英語も標準的な発音が採用され、強い訛りやアクセントは使用されないとされている。 ● 英語のバリエーションは音声面に留まり、語彙や語法については、アメリカ英語を基本とするとされている。
Part 2 応答問題 Question-Response	25 <ul style="list-style-type: none"> ● 読み上げられる英文は「Wh- 疑問文」と「Yes/No 疑問文」が 3 分の 1 ずつ出題される。残りの 3 分の 1 は、「依頼・提案・申し出」「選択疑問文」が各 2 問程度、「平叙文」が 4～5 問出題される。 <p>→ 読み上げられる英文の出だしを聞き逃さず、疑問文のパターンを正しく判断する。</p> <p>→ 形式よりも意味のうえで正しく対応する応答を選ぶ。</p> <p>→ Wh- 疑問文に対して Yes/No で答える選択肢は基本的に誤答である。</p> <p>→ 質問に対して「わからない」「まだ決まっていない」「ほかの人に聞いてみて」など、即答しない応答は正解の可能性が高い。</p> <p>→ 疑問文、平叙文中の語句をそのまま繰り返していたり、音の似た語句を含む応答は誤答の可能性が高い。</p> <p>→ 依頼、提案、申し出など（<i>Could you ...?</i> や <i>Why don't you ...?</i> など）に対する正しい応答は、応じる場合は定型表現（<i>Sure./ I will.</i> など）、断る場合はその理由を述べる（<i>Sorry, but I'm busy today.</i> など）ことが多い。</p>	
Part 3 会話問題 Conversations (with and without a visual image)	39 <ul style="list-style-type: none"> ● 読み上げられる会話は 13 会話（20-40 秒程度）。 ● 1 会話につき、3 つの設問。会話は 2 人の会話を中心に、3 人の会話も 1～2 セット出題される。 ● くすれた発音（たとえば、<i>going to</i> が <i>gonna</i> など）や言いよどみ、<i>Will do.</i> / <i>Could you?</i> などのように主語や動詞が抜けている文が含まれる。【新形式】 ● 3 問の設問文はテストブックに印刷されているだけでなく、音声でも読み上げられる。 ● テストブックは 3 つの設問ごとに区切り線が入り、読み上げられる会話と設問の対応が一目でわかる。 <p>→ できるだけ 3 つの設問文を先読みしたうえで会話を聞けば、解答に必要な情報を絞って聞くことができる。</p> <p>→ 会話の冒頭から話者同士の関係、会話の行われている場所、話題、会話から予測される次の行動などの概略を把握する。</p> <p>→ 多くの場合、各設問を解くために必要な情報は、設問文の順序で会話中に登場する。</p> <p>→ 設問は、会話の場所やトピック、人物に関する「基本情報」を問うものと、具体的な内容に関する「詳細情報」を問うもの、「会話中の表現の意図」を問うもの【新形式】、「図表を参照し、情報を照合させる力」を問うもの【新形式】の 4 種類。</p> <p>→ 前半が易しめで、徐々に難易度が上がる傾向にある。</p> <p>→ 正解の選択肢は、前半は会話中の表現がそのまま入り、後半は会話中の表現を別の表現で言い換えていることが多い。</p>	

早川 幸治 (はやかわ・こうじ)

ニックネームは Jay。IT 企業 (SE) から英語教育の世界へ転身し、ECC での英会話講師を経て、現在は株式会社ラーニングコネクションズの代表として、TOEIC® テスト対策や英語学習法を指導。これまでに研修を担当した企業は、全国で 80 社を超える。また、明海大学や桜美林大学、早稲田大学、明德義塾高校などでも教える。豊富な受験経験から傾向をおさえた効率的な対策法が好評。「できる」を体験させる指導で大幅なスコアアップ達成者を多く輩出し、受講生から絶大な信頼を得ている。高校 2 年で英検 4 級不合格という苦手意識を克服した経験から、学習者サポートにも力を入れている。TOEIC® テスト 990 点 (満点)、英検 1 級。

著書に、『TOEIC® テスト書き込みドリル』シリーズ (桐原書店)、『TOEIC® テスト出る語句 1800+』 (コスモピア) など 30 冊以上。雑誌 *English Journal* (アルク) や NHK ラジオ「入門ビジネス英語」で連載中。

ブログ:「今日から始める英語トレーニング」

<http://ameblo.jp/jay-english/>

メルマガ: 毎日配信 基礎単語メール

<http://www.jay-toEIC.com/>

twitter: @jay_toEIC

E メール: jay@jay-toEIC.com

Ross Tulloch (ロス・タロック)

オーストラリア・クイーンズランド州のグリフィス大学ビジネス科卒業。近畿日本ツーリスト入社後、ツアーコーディネーターとして 6 年勤務。クイーンズランド工科大学で英語講師資格 (TESOL) 修得後、日本へ渡る。公立中学校を経て、現在、岡山学芸館高等学校勤務。

共著に、『5 日で攻略 新 TOEIC® テスト 470 点!』『3 週間で攻略 新 TOEIC® テスト 470 点!』 (以上、アルク) などがある。TOEIC 990 点 (満点) 取得。

© Koji Hayakawa; Ross Tulloch 2016, Printed in Japan

新形式問題対応

TOEIC® テスト直前対策模試

2016 年 7 月 20 日 初版第 1 刷発行

著者 早川 幸治

Ross Tulloch

制作 ツディブックス株式会社

発行者 田中 稔

発行所 株式会社 語研

〒101-0064

東京都千代田区猿樂町 2-7-17

電話 03-3291-3986

ファクス 03-3291-6749

振替口座 00140-9-66728

組版 ツディブックス株式会社

印刷・製本 シナノ書籍印刷株式会社

ISBN978-4-87615-312-1 C0082

書名 トーイックテスト チョクゼンタイサクモシ

著者 ハヤカワ コウジ/ロス タロック

著者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。

乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社語研 

語研ホームページ <http://www.goken-net.co.jp/>

【付属 CD について】

Listening Test 1 回分(100問)を

CD 1 枚に収録しています。

CD 収録時間: 47 分 37 秒